

～活動の報告と計画～

六十周年記念事業委員会

委員長 ルンビニ保育園 岡田泰稔

静岡県保育連合会の六十周年はオリンピッククイヤーとも重なり、社会全体がお祭りムードに包まれた中で迎えられるはずでした。

昨年より記念事業と記念誌発刊にむけた委員会を立ち上げ、準備を進めてまいりました。その矢先「新型コロナウイルス感染症の世界規模での流行」にみまわれました。春には全国に緊急事態宣言が発令され、思うように委員会の開催も出来ず、限られた時間と手段を尽くして準備を進めてまいりましたが、すべての会員の皆様に心置きなくお祝い頂く為、式典は来年度に延期させていただく事となりました。六十周年記念誌は、編集委員の尽力と寄稿頂きました皆様のおかげで年内に発行することが出来、記念対談につきましても事情をご推察いただきました汐見先生、大豆生田先生のおかげで盛況のうちに終えることができました。

延期とさせて頂いた記念式典につきまして、じっくり準備させて頂く時間が取れると前向きに捉え、詳細が決まり次第皆様にお知らせいたします。

国難ともいわれるこの状況を乗り越えた先で、皆様と一緒に、心の底からお祝いしたいと切に願っております。

海外交流委員会

委員長 一番町保育園 海野美代子

今年度の視察は、令和二年五月三〇日(土)～六月四日(木) 四泊五日の(機内一泊)の日程でハンガリー・オーストラリアを計画し、申し込みもいただいた直後コロナ感染症が蔓延し渡航はできなくなりました。

次年度六月に同じような日程で調整中ですが今後の情勢を見守りながらというところで。

ハンガリーはヨーロッパ中部に位置しています。首都はブダペストで国土は日本の四分の一ほどです。経済的に裕福な国ではありませんが、子供と働く人々には手厚い援助がされているようです。

保育者が一人一人に向き合い、特定の保育者が応答的に関わる担当制は、日本の保育にも取り入れられているところもあります。

この視察研修で大切にされているところは、保育の場を視察するとともに、その国の教育にかかわる行政との話し合いが中心にあります。お国柄を知り理解するには、その国の人と出会い、生活を知り、空気感を感じることが大切な研修です。世界各地での感染が収まり、従事されている方、病の後遺症にいらっしゃる方が癒され、訪問がかなうことを祈るばかりです。

少子化対策委員会

委員長 一番町保育園 海野美代子

保育所・認定こども園利用者以外に、子育て支援への関心と理解を求める啓発活動を行った場合の経費(一事業五万円)を助成する「子育て支援啓発活動事業助成金制度」を実施しています。これは複数の施設や団体で行う事業であれば、民間園や公立園の区別なく、また、保護者会等の団体でも助成対象としています。各支部三事業(十五万円)の予算を組んでおりますので、この助成金を活用したい団体は、各支部事務局にご連絡ください。

啓発品についてご案内、ご協力いただいている、「あいあいホットマーク」のクリアファイル(藤色)を作成しました。同じくピンバッチのご用意もあります。お申込みいただいたものは順次送付いたします。まだ、お申込数に余裕がありますのでご協力いただけるよう、よろしく願います。

研修委員会

委員長 ひくまこども園 山田佳敬

本年度は新型コロナウイルス感染症の対応で、どの園においても苦慮されていることが多いかと存じます。我々研修委員会では例年企画していた以下の研修は、残念ながら中止となってしまいました。

○施設長研修会（四月の総会時）

○新規採用職員研修会（例年五月実施）

○育児相談研修会（例年十一月実施）

各支部、保育士会、全国組織の研修会も当初は中止や延期が相次いでおりましたが、徐々にウェブを活用した研修が増えてきております。県保連でもウェビナーによる研修を開催できる体制が整い、民間園長研修会と施設長研修会を合同にし、神戸大学准教授北野幸子氏を講師とした施設長研修会を開催できました。

また、養成校との意見交換会をZOOMによるオンラインで開催いたしました。内容については、記事をご覧ください。

今年度内の研修会は次の通りです。

○新規採用予定職員研修会

令和三年二月下旬

（会場は各支部の研修会場にて）

キャリアアップ委員会

委員長 聖心保育園 吉川慶子

新型コロナウイルス感染症がまだまだ国内外ともに猛威を振るい、社会生活や働き方に大きな変化が生まれました。そのような中でも保育現場には社会的インフラの要として、子どもたちの最善の利益を守り、保育を行うことが求められています。

このコロナ禍においての保育士等のキャリアアップ研修の開催については、会場との調

整や講師陣の県をまたぐ移動等の制限など多くの課題もありました。特に会場の収容可能

人数の制限もあり、感染症対策をとっても研修受講を希望されるすべての方を受け入れることができませんでした。

様々な課題を踏まえ、県担当課との協議も重ねながら、本来の目的である「保育の質の向上」につながるキャリアアップ研修の実施ができるよう検討し計画していきます。

青年部会

部会長 竜南こども園 太田嶋俊彦

昨年は、コロナ禍の中で大規模な登園自粛が行われたり、多くの活動の見直しを余儀なくされた園も多く、これまでに経験のない激動の一年となりました。総会やシンポジウム、各種研修など例年他市から多くが集まる青年部活動も中止を余儀なくされ、今後の活動の在り方に腐心する日が続きました。しかしその反面、オンライン研修や会議、動画配信などの新たな試みも始まり、それらを導入する園も次第に増えてきました。

これからも当面この状況は続き、また様々に変化していくかと思いますが、発生する新たな課題に対し、青年部ならではの迅速な対応力で立ち向かい、乗り越えていきたいと考えています。青年部会員同士が集まり、ひざを突き合わせて話し合う機会はまだまだ少なくなるかもしれませんが、これからも子どもを

中心とした保育を進めていくとともに、互いが自己研鑽し、そして協働できる組織であるよう意識の向上に努めたいと思います。

●活動報告

青年部会総会及びシンポジウム 中止

全国青年保育者会議大阪大会 延期

●今後の予定

西部支部研修会 未定

中部支部研修会 未定

東部支部研修会 未定

広報委員会

委員長 あいわ保育園 増田俊一

本委員会は、「ほいく静岡」を毎年二回発行（夏号・冬号）していますが、令和二年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、夏号は見送りとなりました。

冬号は、コロナ禍で制約のある中での取材・編集となりましたが、原稿執筆者、委員の皆さんのお陰で無事発行となりました。

これからも「楽しく、ためになる」広報誌を目指します。よろしくお願ひします。

